

定時総会報告事項（理事会承認事項） ①令和6年度事業報告について
令和7年4月22日理事会第1号議案

「令和6年度事業報告書」

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

◆事業活動の基本方針

武雄法人会は公益法人化14年目となる令和6年度も、地域における「税のオピニオンリーダー」として「よき経営者をめざすものの団体」を標榜すると共に、「会員の積極的な自己啓発を支援」し、「納税意識の高揚・向上」と「企業経営および地域社会の健全な発展に貢献する」という基本方針に則り、親会はもとより、青年部・女性部会の活動をより活性化させ、会員と関係団体さらには地域の皆様と協力・連携して各種事業活動を遂行してまいりました。

公益法人格としての社会的な立場に留意しつつも、会員組織としての二面性にも配慮しつつ活動を行いました。

とりわけ全国的にも、また県内においても会員数の減少に歯止めがかからぬ中、法人会の存在意義を根底から深く掘り下げ、会員のメリットの追及に力点を置いた、開かれた法人会として地道な活動に力点を置いてまいりました。

令和6年度は経済環境の諸要因により会員増加の達成は出来ませんでした。次年度も引き続き常に武雄法人会の設立理念を根底に見据え、日々の地道な活動に邁進して活力溢れる法人会としての事業遂行に努力してまいりたいと思います。

◆主な事業報告

I. 公益目的事業関係

1. 税知識の普及を目的とする事業（公1）

小学生の頃より「税」に親しんで理解を深めて貰うべく、当会青年部・女性部会員で構成される社会貢献プロジェクト委員会を中心に、毎年武雄税務署管内の小学校

の6年生を対象とした租税教室・税の絵はがきコンクールを開催しています。

今年度は令和6年6月5日に嬉野市立大草野小学校(24名)、6月6日に嬉野市立塩田小学校(24名)、6月12日に鹿島市立古枝小学校(34名)、6月17日に白石町立有明西小学校(17名)、の4校で合計99名の児童を対象に、夫々開催致しました。租税教室は税務署で「租税教室講師養成研修会」を受講した青年部の租税教育活動委員会会員の授業主導の下、アニメなども教材に使いながら、税で支えられている社会の仕組みを判り易く教えるものです。また教材として全法連が作成した税の啓発用漫画冊子「タックスファンドとけんた君」を、実施した4校の児童に配布致しました。

さらに、女性部会が主体となって開催する「税に関する絵はがきコンクール」を上記の4校で実施、合計91点の作品応募が寄せられました。

例年通りに、武雄税務署署長様、統括国税調査官様、当法人会会長、女性部、青年部の部会員さんと外部の学識経験者を交え、厳正な審査の結果、武雄法人会会長賞・審査委員長賞・青年部会長賞・女性部会長賞を各校より1点ずつ、武雄税務署長賞を4校より1点選出し、入賞作品についてはクラスの規模により多寡がありますが、平均すると5作品を選出しております。尚、全応募作品の中より最優秀作品1点については県連審査会を経て九州北部法人会連合会審査へ提出しています。

それぞれの小学校の入賞作品については、女性部・青年部から部会員が出席して校長室等で表彰式を行い、賞状と記念品を贈らせて頂きました。さらに優秀作品については対象となった小学校の近くの金融機関、郵便局、学校に1か月程展示し、武雄税務署様の入り口に確定申告時から掲示をさせて頂いております。

また、納税貯蓄組合連合会が主催する中学生「税の作文コンクール」の作文審査を青年部のサポートを仰ぎながら、女性部会が主体となって実施しております。今年度は管内中学校19校の内9校から応募がありました。3年生を対象として原稿用紙を配布し、夏休み明けに回収された応募作品は710編でした。納税貯蓄組合連合会 富永正嗣会長のご指導の下、税に関する独創的な体験、税に対する感謝や思いの表現力、文章の構成力、共感性など多角的な観点から採点を行いました。第一次選考で20編の作文に絞り込み、選考の結果上位5編を入賞としました。尚、上位2編の作文につきましては佐賀県連合会へ上申しています。

2. 納税意識の高揚を目的とする事業（公1）

（1）税務研修会

税務知識の習得は企業における、よりよき経営の必須条件であるばかりでなく、正しい申告納税制度を推進させることにも寄与する大切な仕事であることから、年に一回の割合で、武雄税務署と共催で、「新設法人説明会」を開催しています。

令和6年度は18社24名のご参加を頂きました。新設法人に対する法人会計

の説明をDVD等で行いましたが、当会への入会アプローチが今後の課題であり、次年度はさらに相応しい取り組みを行いたいと思います。

また武雄税務署法人課税部門のご協力を得て、毎年四半期に一度の頻度で「決算事務説明会」を開催しています。令和6年度は5月48名、8月31名、11月10名、1月30名、合計119名の参加を頂きました。当会よりその際には全法連が策定した「税務コンプライアンスチェックシート」を配布して、その活用についての説明を致しました。

令和6年度税制改正の大綱に沿って、令和6年度分所得税について定額減税が実施されることとなりました。武雄税務署様及び武雄間税会と武雄法人会が共同主催で説明会を開催しました。令和6年4月に「給与等の源泉徴収事務に係る令和6年分所得税の定額減税のしかた」についての説明会には非会員154名を含め398名の出席者でした。また11月には「令和6年分年末調整のしかた」についての説明会には非会員151名を含め316名の出席者でした。

10支部にまたがる支部研修会は、例年武雄税務署各部門のご担当様などを講師にお迎えして地域毎に開催しておりますが、令和2年度より各支部で講師を選定して頂き3名の講師へお願いして研修会を開催致しました。講師とテーマは以下の通りです。①井手社会保険労務士事務所 社会保険労務士 井手静雄氏「経営者(上司)が社員(部下)に求めるシンプルな50のこと」について ②司法書士法人 アドヴァンス 司法書士 土井大史氏「相続の手続きと新しい遺言書制度」「相続登記の義務化」について ③一般社団法人 鹿島デジタル社会推進協会 理事長 岩永信二氏「経営に役立つDX」～今、組織に必要な準備とは?～ 会員企業より198名のご参加を頂きました。

また、毎年11月11日から17日に開催される「税を考える週間」に協調する意味から、武雄税務署長様を講師としてお迎えして、当会より青年部会、女性部会会員及び武雄間税会との共催による合同税務研修会を開催し、嘉村達也 税務署長様より「税のはなし」と題して、ご講演を38名の参加で拝聴致しました。

11月12日の税を考える週間記念公開講演会は、前大阪府知事・前大阪市長の「松井一郎氏」を講師に迎え「組織を束ねる力」というテーマでご講演を頂きました。聴講者は、会員126名、一般72名、合計198名でした。

広報手段として当会会報誌、新聞掲載、チラシ配布、管内地域のケーブルテレビ各社で告知をお願いし、また当会ホームページにも掲載するなどして、広く一般の方々にも周知を図りました。

(2) 広報事業

税の広報誌として「ほうじん武雄」を毎年8月と1月の二回にわたり定期的に発行しておりますが、今年度も編集方針を「もっと身近な会報へ」と常に見直しを

行い、会員企業訪問シリーズや、顧問弁護士、顧問社会保険労務士による専門知識の習得に結び付く連載随筆などの掲載、さらに法人会活動の写真を多く掲載し、レイアウトに工夫を凝らし、親しみ易くまた見易く致しました。また国が提唱する e-Tax(国税電子申告・納税システム、軽減税率の周知活動)の普及についても関連記事の掲載を行っています。今年度は、夏期 69 号・冬期 70 号を発行致しました。発行部数 2100 部のうち会員向けに 1200 部を発送し、市役所・町役場・金融機関・商工会議所・商工会などに一般向けとして 900 部を配布しています。また全法連発行の「ほうじん」は季報として年 4 回夫々1600 部発行されておりますが、「ほうじん武雄」と同様に配布しております。

さらに、当会のホームページを利用した税の啓蒙活動につきましても、支部研修会、決算事務説明会、租税教室、税を考える週間などにおける活動状況を頻りに更新して紹介し、広く情報公開しております。

3. 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業（公1）

令和 7 年度税制改正に関するアンケート調査の実施については、当会税制委員会委員を始めとして、役員、九州北部税理士会武雄支部、青年部・女性部会員、一般会員からランダムに抽出して本会より 34 社の回答を得ました。これらの意見を包含して、令和 7 年度税制改正要望事項の検討については、県連税制委員会により佐賀県単位会の総意として要望事項が取り纏められました。その意見集約された提言は法人会全国大会において、採択された要望事項が発表されています。

また、12 月に当会の会長、税制委員長、事務局で令和 7 年度の税制改正提言書を、管内の自治体（武雄市・鹿島市・嬉野市）の首長・議会議長を訪問し直接手渡しして、税制改正提言へのご理解と法人会活動へのご協力を要請致しました。

4. 地域社会への貢献事業（公2）

（1）公開講演会

5 月 22 日の定時総会記念公開講演会は、スポーツジャーナリストの「二宮清純氏」を講師に迎え「勝つ組織 負ける組織」というテーマでご講演を頂きました。聴講者は、会員 91 名、一般 102 名、合計 193 名でした。

6 月 19 日の女性部会定時大会においては、講師に特定非営利活動法人 フードバンクさが 理事長の「干潟由美子氏」を迎えて、テーマ「食品ロスについて」の研修会を開催しました。33 名の参加でした。

また、6 月 3 日の青年部会定時大会においては、講師に弁護士法人みどり法律事務所の弁護士「鬼橋正敏氏」を迎えて、テーマ「弁護士の世界」についてご講演をいただきました。33 名の参加でした。

(2) アルモニア管弦楽団演奏会の開催

令和6年度の地域社会貢献活動の一環として青年部・女性部会員を中心として、武雄市立北方中学校（生徒数148名）と教職員20名、江北町立江北中学校（生徒数250名）と教職員・一般30名の総合計448名へ本物のクラシックコンサートを体験して頂こうと恒例の学校コンサートを開催致しました。

演奏会の冒頭青年部会員より「税の大切さ」などのショート講話を行い、福岡・佐賀のプロ演奏家集団アルモニア管弦楽団（代表 香椎愛子氏他10名）の素晴らしいクラシック音楽の生演奏を聴いてもらい、最後は管弦楽をバックに声高らかにそれぞれの校歌を合唱して頂きました。初体験だったという児童・生徒さんばかりで、フルートやクラリネット、トランペットやマリimbaなどの一つ一つの楽器を紹介されるプログラムに目を輝かせておられました。毎年開催して来て思うことは、普段は聴くことのできない生の管弦楽の素晴らしさは多感な児童・生徒さんの胸に響くことと思われ、とても意義深いものがあります。

(3) 愛の献血運動

献血運動は、本会の社会貢献活動の一環としてこれまで継続事業として積極的に取り組んでまいりましたが、今年度で26年目となり、地域の皆様に法人会の献血運動と定着するまでになりました。今年度は武雄市、鹿島市、嬉野市の3地区3会場で当会の女性部会など、延べスタッフ17名の動員で行い、受付者293名、採血者250名の実績でした。なお毎年、献血にお見えになった皆様には、当会より箱ティッシュ5箱・甘納豆・佐賀県米の新米などをプレゼントさせて頂いておりますが、今年度も大好評を博しました。

(4) 新作カレンダーバザー展へのカレンダー寄贈

毎年の年末に佐賀市で開催されている赤い羽根共同募金会主催の「新作カレンダーバザー展」に当会会員企業11社から募った115点の新作カレンダーを出品し、その売上金は県連を通して県内5単位会で集約され、その収益金を赤い羽根募金会へ寄付致しました。

(5) 管内公共施設等への備品寄贈事業

地域社会への貢献事業として、管内公共施設等への備品寄贈を計画していることから、令和6年度は「加湿機能付空気清浄機」を太良町・白石町・江北町・大町町へ各々2台寄贈しました。寄付の目的は、市民が集う場所へ空気清浄機設置による除菌対策です。令和7年度も継続していきます。

5. 地域企業の健全な発展を目的とする事業（公2）

実務研修会（新社会人セミナー・パソコン教室）の開催

(1) 新社会人セミナー

令和6年度の同セミナーのテーマは、「知って得するビジネスマナー」と題して「接客・接遇・電話対応」を実戦的にセミナー形式で開催、管内企業の社員教育の一環と致しました。

今年度は会員企業より52名の参加を頂きました。講師の招聘では東京都より道株 代表取締役 自覚真由美先生にお願いして好評を博しております。

(2) パソコン教室の開催

社員教育の一環として、パソコンスキルアップ「ワード」・「エクセル」の実践的なビジネス活用を目指した講習会を三日間連続して実施致しました。

講師に(有)イツデモ社長の田代真一氏を招聘して「ビジネスにすぐ使えるワード・エクセル」というテーマで、受講者は延べ49名の参加でした。

今回の特徴として初日はWord初級者を対象とした、ビジネス文書の作成等、2日目はExcel基礎の表計算・複数シートの操作等、3日目は仕事で困ったを解決、Excel関数等を設けたことでした。

またマンツーマンの講習なので理解しやすいと好評でありました。

Ⅱ、収益事業関係

1、会員企業の福利厚生に関する事業（他1）

法人会企業の企業保全と人材保障に備える法人会の福利厚生事業として以下の制度の普及拡大を図りました。当会役員の関係団体との連携を強化継続中です。

- (1) 経営者大型保障制度の普及推進
- (2) ビジネスガードの普及推進
- (3) がん保険制度・医療保険制度の普及推進
- (4) 貸倒保障制度（取引信用保険）の普及推進

2、会員支援のための親睦・交流等に関する事業（他2）

(1) 青年部会視察研修・女性部会視察研修会の実施

①青年部会視察研修

青年部会員同士の親睦交流の一環として毎年視察研修を実施しています。

今年度は佐世保市世知原町を視察し、14名の部会員が参加しました。

②女性部会視察研修

唐津市鎮西町の佐賀県立名護屋城博物館へ視察研修を実施しました。

総勢20名の参加で会員同士の親睦交流を深め、絆を確認しました。

(2) 異業種交流会

大人数密集で飲食を伴うために、異業種交流会は見送りました。
状況を見ながら再開を計画していきたいと思います。

(3) 法人会ゴルフコンペ

第10回武雄法人会会員向けチャリティゴルフコンペ

大会実行委員長山口健一氏の指揮の下、11月26日武雄嬉野国際カントリークラブで開催しました。前日から当日にかけて雨天であったため参加者は87名となりましたが、参加者全員日頃の練習の成果を発揮されました。今年度もチャリティーホールでの収益金36,250円を当会の会員でもある武雄市社会福祉協議会と白石町社会福祉協議会へ寄贈させて頂きました。令和7年度大会は10月に予定しております。

Ⅲ、公益収益事業の詳細並びに会員、青年部・女性部会員、支部別会員、福利厚生制度の推移について

税知識の普及と高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業、地域社会への貢献事業、地域企業の健全な発展を目的とする事業並びに主催した会議、出席した会議、及び青年部・女性部会員の活動等の詳細につきましては、別紙の事業報告の付属明細書をご確認ください。

また、当会の会員数、青年部・女性部の会員数、福利厚生制度の推移につきましては、別紙グラフに掲載しておりますので、ご確認ください。